

映像制作サマワーショップ講師
メディアアーティスト 落合陽一氏の特別講演を一般公開！
参加者 200名の募集開始！

につぼんか がくみらいかん 日本科学未来館 (略称: 未来館、館長: もうり まもる 毛利 衛) は、7月22日(土)、若手メディアアーティスト・落合陽一氏の特別講演を一般公開し、200名限定で参加者を募集します。



この講演は、日本の女子中高生約100人とアジア太平洋地域の中高生が、「幸せ」をテーマに2分間の映像作品をつくりあげる国際ワークショップ、「Picture Happiness on Earth 2016-17」の一環として開催するものです。ワークショップ初日にあたる7月22日(土)、落合陽一氏が自身の提唱する自然観を表現した「デジタルネイチャー(計算機自然)」をはじめ、今とりくんでいる研究や作品の紹介をしながら、テクノロジーが拓く未来について特別講演を行います。

この特別講演に、一般参加者200名をご招待することが決定。6月8日(木)から参加者の募集を開始します。

本講演、および5日間の国際ワークショップについて、貴媒体にてご取材、ご紹介いただけますよう、お願い申し上げます。

【開催概要】

名 称	落合陽一氏 特別講演「デジタルネイチャー、計算機的多様性の世界へ」	
開 催 日 時	2017年7月22日(土) / 11:00~12:00	
開 催 場 所	日本科学未来館 7階 未来館ホール	
対 象	どなたでもご応募可(講演内容は中学生以上を想定しています。)	
応 募 方 法	未来館ウェブサイトのイベント情報をご確認いただき、応募フォームからお申込みください。 http://www.miraikanjst.go.jp/event/1706081021420.html	
募 集 人 数	200名(抽選)	
募 集 期 間	2017年6月8日(木)~7月7日(金) 17:00	
参 加 費	無 料	
主 催	日本科学未来館	
共 催	ブルームバーグ エル・ピー(Bloomberg LP.) Bloomberg	
協 力	アドビ システムズ 株式会社	

■ワークショップ参加者の募集延長！

国際ワークショップ「Picture Happiness on Earth 2016-17」(全5日間)に参加する女子中高生の募集を、6月30日(金)17:00まで延長することが決定！

特別講演と併せて、ご注目ください。 http://www.miraikanjst.go.jp/sp/picture_happiness/



一般からのお問い合わせ先	ご取材・画像提供に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL: 03-3570-9151 FAX: 03-3570-9150 URL http://www.miraikanjst.go.jp	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 Email: press@miraikanjst.go.jp TEL: 03-3570-9192 FAX: 03-3570-9150



■落合陽一氏 プロフィール■

メディアアーティスト
筑波大学 学長補佐・助教
Pixie Dust Technologies.inc CEO

東京大学で博士号を取得後、2015年より筑波大学助教 デジタルネイチャー研究室を主宰。同年、自身の企業である Pixie Dust Technologies.inc を創業。2017年より大阪芸術大学客員教授、デジタルハリウッド大学客員教授を兼務。視覚・聴覚・触覚を刺激し、よりリアルな存在感を提示する技術開発や研究、アート活動に従事。Prix Ars Electronica、EU STARTS Prize など、国内外で数多くの賞を受賞。

■講演「デジタルネイチャー、計算機的多様性の世界へ」について■

人と計算機の共存する世界とは？

多彩なメディア装置やメディアアート作品を発表し、第一線で活躍するメディアアーティスト、落合陽一氏。本特別講演では、自身の研究や作品の紹介をはじめ、テクノロジーが拓く未来についてお話いただきます。さらに、落合氏の提唱するビジョンであり、21世紀の新しい自然観を表現した「デジタルネイチャー(計算機自然)」についても触れていきます。「人間」と「機械」、「データ」と「物質」の分断を超えた、人と計算機の共存する世界とは。落合氏の見つめる未来社会を一緒にのぞいてみましょう。

※本特別講演は、国際ワークショップ「Picture Happiness on Earth 2016-17」の一環として開催します。↓

Picture Happiness on Earth とは

「幸せってなんだろう？」をテーマに、日本の女子中高生約100人と、アジア・太平洋地域の中高生がコラボレーションし、日本科学未来館の地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」に映した映像作品をつくりあげるプロジェクトです。今世紀中には、世界の人口は100億人に達すると予測されています。100億人が「幸せ」に暮らす未来を実現するために、いったい何が必要なのでしょう？ このワークショップでは、科学データを使った論理的な考え方や、クリエイティブな表現方法を学びながら、参加者が互いの価値観を共有し、未来の幸せのかたちを一緒に探っていきます。

■Picture Happiness on Earth 2016-17 の流れ

ワークショップは、3つのプロセスで構成されています。

1. シナリオ制作ワークショップ[2016年11月～2017年3月] (アジア・太平洋6つの国と地域の科学館)

各国・地域の中高生それぞれが考える「幸せ」のかたちを、ジオ・コスモスの映像作品のシナリオとして表現します。地球に関するさまざまなデータにアクセスできる、「ジオ・スコープ」や「ジオ・パレット」などのツールを使い、データを用いた論理的な思考方法を学びながら、シナリオを完成させます。

2. 映像制作ワークショップ[2017年7月22日(土)～7月31日(月)のうち3日間] (未来館)

各国・地域で選ばれた優秀シナリオをもとに、日本の女子中高生が、映像作品をつくりあげます。第一線で活躍するクリエイターから指導を受け、演出、デザイン、プログラミングなどを集中的に学びながら、制作にとりくみます。

3. プレゼンテーション[2017年11月11日(土)・12日(日)] (未来館)

シナリオを制作した6つの国と地域の中高生と、映像を制作した日本の女子中高生が一堂に会し、プレゼンテーションします。完成作品は、ジオ・コスモスの常設コンテンツとして上映します。



ワークショップ参加者も延長募集！
〆切 6 / 30 (金) 17:00